平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
1	1101		こども文化科学館 むっくむっくルーム事業	就学前の子どもと保護者が自由に集い、子育てについての情報交換や友達づくりを進める場として開催する。今回、こども文化科学館児童センター2階集会室をむっくむっくルームとして整備することにより、児童センターの果たすべき役割である子育て支援機能を強化し、少子化時代に保護者が心にゆとりをもって子育てができる市東部の拠点とする。	赤ちゃん期 幼児期	こども文化科学館
2	1101		子育て支援事業(ひだまりひろば)	市内在住の就学前の子どもとその保護者を対象に、人権啓発センターの施設を一部開放をし、子どもと関わりながら保護者どうし仲間づくりを図り、交流できる場所を提供する。	赤ちゃん期 幼児期	人権啓発センター
3	1101	23	地域子育て支援拠点事業	就学前の子どもと保護者が自由に集い、子育てについての情報交換や友達づくりを進める場として開催する。事業の啓発と内容を充実させる。	赤ちゃん期 幼児期	子育て支援課
4	1102	23	保育所の地域子育て支援センター事業	子育てに関する育児不安の解消のため、保育所が有する人的物的資源を地域に還元する支援策として、体験保育・園庭開放・育児相談・サークル支援などを実施する。また、この経験・実績を活かし事業の拡大をめざす。	赤ちゃん期 幼児期	保育課
5	1103	24	子育て支援推進事業	未就園児やその保護者へ園開放をして、遊び場の提供や保護者の交流の場とする。子育てに不安を抱く保護者への相談活動など、地域の幼児教育センター的な役割を果たしていく。情報発信の工夫をしながら充実を図る。また、回数についても増加の方向で検討する。	幼児期	学校教育担当

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
6	1104	24	児童館連絡調整事業	兵庫県児童館連絡協議会等と児童館との連絡調整、児童館間の連携協力を図ることなどにより、児童館活動の支援を行う。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	青少年課
7	1104	24	児童館事業	『子どもの居場所』としての機能を持たせ、児童に健全な遊びや安全安心な遊び場を提供し、子どもの相手をする大学生がリーダーとなって「みんなであそぼ」事業も展開する。また、子ども同士による交流、親と子のふれあいを深めるため児童向けの講座・教室を開催し、地域の人々との交流を深めるイベント等を実施する。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	男女共同参画課
8	1105	24	青少年センター管理運営事業	スポーツ活動を通じて健康の保持増進、体力の向上や仲間づくり等青少年の健全育成に資するため、スポーツ大会などを開催するとともに、小・中学生・高校生を対象に、体育館を開放して実施しているスポーツ広場やクラブ活動の場を提供する。また、青少年が自由に利用できる青少年コーナーや図書資料室、情報提供発信コーナーなどにより、青少年活動の拠点として青少年の利用に供する。	学齢期 青少年期	青少年課
9	1106	24	子どもの居場所づくり事業	心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、社会教育施設や学校等を活用し、安全、安心な子どもたちの居場所を整備するとともに地域の大人を指導員として配置し、放課後や週末におけるさまざまな体験活動や交流活動を支援し、地域における教育環境の再生を図る。また、青少年センター事業として、子ども茶道・生花体験教室、各種スポーツ大会等を開催するなど体験を積み重ねる機会を提供する。子どもの居場所は、子ども自ら発見するものであり、それを見守るのが大人の役割だという考えのもと、イベント、教室などを開催する。今後、新規事業として子ども囲碁大会、子ども書道大会を開催していく。	学齢期 青少年期	家庭教育課
10	1106		子どもの居場所づくり事業(ニコニコ広場)	平日午後1時から5時、土曜日午前9時30分から12時までと午後1時から5時まで、また、長期休業中の平日は土曜日と同じ時間帯で、人権啓発センターの施設の一部を市内の児童・生徒に一般開放し、子どもたちに居場所を提供する。また、各種講座やイベントを企画し実施している。	学齢期 青少年期	人権啓発センター

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
11	1107	24	みんなで遊ぼう広場(プレイパーク)事業	瑞ヶ池公園(交通公園跡地)または桜崎児童遊園地で開催。「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに自由に創意工夫し、手遊び、仲間づくりをしながら色々な体験ができる場を、子どもに提供する。	学齢期 青少年期	青少年課
12	1108	24	健全育成活動事業	青少年の健全育成および、青少年が犯罪被害に遭わないようにするために、学校や関係機関および地域の青少年育成団体等と連携して地域ぐるみの愛護活動を進める。	幼児期 学齢期 青少年期	社会教育課 (愛護センター) 青少年課
13	1110		伊丹市放課後子どもプラン事業	放課後児童健全育成事業(児童くらぶ事業)と放課後子ども教室事業を一体的または連携した総合的な放課後対策。安全・安心な子どもの活動拠点を主として小学校に設け、地域の大人の参画と協働により、子ども達に学習やスポーツ、文化活動等、様々な体験活動・交流活動を実施。	学齢期	家庭教育課
14	1111		ひょうごっこグリーンガーデン実践事業	実施する園を指定し、植物の成長、小動物や虫の飼育などの幼児の身近な自然体験を通じて、豊かな感受性や生命を大切に育む。	幼児期	学校教育担当
15	1201	25	幼稚園発表園・実験園・奨励園	各幼稚園が研究テーマに沿った研修を進める。講師を招き、指導を受け保育についての見直しを行う。また、保育公開をして自園の取り組みを発表することで広く意見を聞き、教職員の資質向上を図るとともに、今後の指導に役立てる。	幼児期	学校教育担当

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
16	1203	25	保育所保育研究会	各保育所(園)が、保育テーマに基づき保育実践し、講師を招き実地指導を受けたり、公開保育の場で意見を交換するなど、課題別に研究を深め、保育内容の充実と保育士の資質向上を図る。時宜を得た研修テーマを選択したり、全体研修にとらわれることなく小グループによる研究を深めるなど、より専門的な研究機会としていく。	赤ちゃん期 幼児期	保育課
17	1204	25	異年齢児保育	異年齢児縦割り保育・兄弟姉妹保育などさまざまな保育形態を工夫し、きめ細やかな保育の推進を図り、子どもの多種多様な経験を保障する中で思いやりやいたわりの心、豊かな感性を育む「育ち合いの保育」をめざす。	赤ちゃん期 幼児期	保育課
18	1205	25	人権保育事業	子どもの人権に焦点をおいた保育実践の中で、乳幼児の成長を保障し、それぞれがお互いを認め合う保育を展開する。また、遊びの中から「平等」「思いやり」などの意識の高揚を図り、子どもの時から人権を尊重し、共に生きる社会を創造する意識や感性を育てる。	赤ちゃん期 幼児期	保育課
19	1206	25	統合保育事業	障害のある児童を保育する中で、子どもたちがお互いを認め合い、人間性豊かに成長することをめざす。	赤ちゃん期 幼児期	保育課
20	1207	26	担当制保育	0～1歳児の乳児保育において、特定の保育士の愛情深い関わりを基盤に、信頼関係の形成を重視する。行き届いた環境のもとで、さまざまな欲求を満たすと共に家庭養育の補完を行い、健康で安全な情緒の安定した生活を送れるようにする。	赤ちゃん期 幼児期	保育課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
21	1208	26	世代間交流事業	少子化・核家族化の中で、さまざまな世代間との関わりが少なくなっている今、高齢者や中高生との交流の場を提供し、高齢者を敬う気持ちを培ったり、子育てのノウハウを知らせるなど、啓発活動の一翼を担う。	赤ちゃん期 幼児期	保育課
22	1209		認定こども園運営費補助事業	市内における認定こども園設置者に対し、予算の範囲内で認定こども園の運営費を補助することにより、就学前の子どもに関する教育、保育・子育て支援の総合的な提供を推進し、地域において子どもが健やかに育成される環境を整備する。	赤ちゃん期 幼児期	こども企画課
23	1301	26	環境浄化活動事業	「白ポスト運動」による有害図書・テープ類の回収を行うと共に、図書販売店・ビデオレンタル店・カラオケハウス・玩具類取扱店の巡回調査を行うなど、有害環境総点検活動を地域ぐるみで実施していく。青少年にとって健全な環境を整えることが市民の責務であることの自覚を促す啓発や「青少年を守る店」協力店の拡大、ピンクチラシの「投げ入れ防止ステッカー」の配布を行う。	学齢期 青少年期	社会教育課 (愛護センター)
24	2101	27	男女共生教育	学校生活のあらゆる場面で一人ひとりの個性を大切にした教育を推進する。男女共生教育の充実とセクシュアルハラスメントについての研修の充実。個性を大切にした教育を推進し、人間性豊かな過ごし方ができるよう取り組みを進める。男女が互いに協力することの大切さを知り、幸せな生活を営むことができるよう意識改革を図る。特に道徳教育や教科学習および総合的な学習などの充実に努め、全教育活動の中で行う。また、男女共同参画社会の理念に基づいて教職員の意識改革を図るため、男女の人権尊重意識の醸成、啓発講座を行う。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	男女共同参画課
25	2101	27	男女共生教育	学校生活のあらゆる場面で一人ひとりの個性を大切にした教育を推進する。男女共生教育の充実とセクシュアルハラスメントについての研修の充実。個性を大切にした教育を推進し、人間性豊かな過ごし方ができるよう取り組みを進める。男女が互いに協力することの大切さを知り、幸せな生活を営むことができるよう意識改革を図る。特に道徳教育や教科学習および総合的な学習などの充実に努め、全教育活動の中で行う。また、男女共同参画社会の理念に基づいて教職員の意識改革を図るため、男女の人権尊重意識の醸成、啓発講座を行う。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	学校教育担当

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
26	2102	27	中高生の乳幼児ふれ合い体験事業	中高生が保育士などの指導により、乳幼児についての知識理解を深める講習と乳幼児といっしょに遊んだりするなどのふれあい体験を通じて、異世代間の相互理解を深めていく。	赤ちゃん期 幼児期 青少年期	学校教育担当
27	2102	27	中高生の乳幼児ふれ合い体験事業	中高生が保育士などの指導により、乳幼児についての知識理解を深める講習と乳幼児といっしょに遊んだりするなどのふれあい体験を通じて、異世代間の相互理解を深めていく。	赤ちゃん期 学齢期 青少年期	保育課
28	2103	28	思春期の身体と心の教育	思春期の子どもの身体と心のアンバランスな成長に起因するさまざまな問題や悩みに対して、正しい知識の学習や心の健康相談などを通して、心身の健やかな育ちを図る。	学齢期 青少年期	伊丹病院
29	2103	28	思春期の身体と心の教育	思春期の子どもが身体と心のアンバランスな成長に起因するさまざまな問題や悩みに対して、正しい知識の学習や心の健康相談などを通して、心身の健やかな育ちを図る。	学齢期 青少年期	学校教育担当
30	2103	28	思春期の身体と心の教育	思春期の子どもが身体と心のアンバランスな成長に起因するさまざまな問題や悩みに対して、正しい知識の学習や心の健康相談などを通して、心身の健やかな育ちを図る。	学齢期 青少年期	保健体育課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
31	2201	28	小学校体験活動事業	小学校3年生:環境体験学習:自然に出かけて行き、地域の人々等の協力を得ながら自然観察や栽培・飼育など五感を使って自然にふれあう体験型環境学習を継続的に実施する。 小学校5年生:自然学校:4泊5日で、野外活動施設に宿泊し、周辺の自然についての学習や地域とのかかわりのある活動を行う。	学齢期	学校教育担当
32	2202	28	伊丹特別支援養護学校・特別支援学級ながよしキャンプ	障害のある児童・生徒が親から離れて、指導者と寝食を共にし、自然の中で水遊びやキャンプファイヤーなどを楽しむ。安全に配慮しながら、日常生活ではできないキャンプならではの体験を実践する。	学齢期 青少年期	学校教育担当
33	2203	28	地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」事業	中学校2年生の生徒が、職場体験活動・勤労生産活動など5日間の学校外での体験活動を通して地域に学び、「生きる力」を育むことをめざす。推進協議会をさらに充実し、地域の教育力の向上と、教職員のトライやる・ウィークに対する意識の高揚を図る。	青少年期	学校教育担当
34	2204	28	伊丹市子どもシンポジウム	次代を担う子どもたちが、学校や社会の問題を主体的に学び、社会を構成する一員としての自覚を高めるとともに、自由に自分の意見を発表する場を確保し、21世紀を担うリーダーづくりに資する。	学齢期 青少年期	学校教育担当
35	2205	28	町の先生推進事業	豊かな体験や、専門的な技能を有する人を「町の先生」として学校に招き、地域の教育力を学校に活かすとともに、開かれた学校園づくりを推進する。さらに「いきいき学校」応援事業等で学校ボランティアを活用し、各学校園の特色ある取り組みを進める。	幼児期 学齢期 青少年期	学校教育担当

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
36	2206	29	道徳教育	道徳的価値および生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育てる指導を工夫する。奉仕活動やボランティア活動を積極的に取り入れ、自分たちのまちは自分で創る意識を持った児童生徒を育てるための教職員研修を行う。	学齢期 青少年期	学校教育担当
37	2207	29	スクールカウンセラー活用事業	児童生徒の臨床心理について高度の専門的知識を有するカウンセラー(臨床心理士等)を配置し、子どもの心に寄り添い、悩みを解決する。また、保護者からの相談にも応じ、早期解決を図る。	学齢期 青少年期	学校教育担当
38	2208	29	学校評議員制度	地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携しながら、特色ある教育活動を展開する。設置校の増加を図り、より充実した評議員会とする。	学齢期 青少年期	学校教育担当
39	2209	29	学校問題解決支援事業	日常的に社会のルールやマナーを身につけられるよう、児童生徒の規範意識を高め、自己実現をめざす。小・中連携した取り組みを進めていく。	学齢期 青少年期	学校教育担当
40	2210	29	教育相談	幼児・児童・生徒の健全な成長を支援するため、本人やその保護者ならびに関係者を対象にした来所または電話等による教育相談。カウンセリングや遊戯療法、箱庭療法、医療相談等そのケースに合わせた臨床心理士等による継続的な心の支援を行う。	幼児期 学齢期 青少年期	総合教育センター

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
41	2211	29	生徒指導・不登校対策推進事業	不登校問題解決のため、不登校対策推進委員会を設置し、研修会、事例研究会、施設見学等を積極的に行う。また、各学校においてもスクールカウンセラー等の参加を得て、個々の児童生徒への対応をすとも情報交換を密にし、その解決を図る。	学齢期 青少年期	学校教育担当
42	2212	29	不登校児童生徒の学校復帰支援事業	不登校の児童生徒に仲間との出会いの機会を与え、さまざまな体験活動を通して自立心や社会性、人との関わり方等の力を養い、学校や社会に復帰できるように指導と援助を行う教室として、市内に2ヵ所の適応教室を運営。適応教室「やまびこ館」は体験活動を中心に集団への適応を促し、第2適応教室「学習支援室」は、不登校児童生徒を対象に学習支援を中心に適応指導を実施。また、ひきこもり傾向の児童生徒を対象に大学院生を派遣する「メンタルフレンド派遣」事業を行う。	学齢期 青少年期	総合教育センター
43	2213		2分の1成人式	20歳までの折り返し点にあたる10歳の子どもたちが「2分の1成人式」を行い、10年間の成長を振り返り、それを支えてくれた人々に感謝の念を持つ機会とすとも、将来に向けてよりよく生きていこうとする態度を養う。	学齢期	学校教育担当
44	2214		スクールアシスタント配置事業	ADHD等により、行動面で著しく不安定な児童や、その児童が在籍する学校への支援のほか、問題行動や不登校等に対応するために、小学校にスクールアシスタントを配置する。	学齢期	学校教育担当
45	2215		心の教育推進モデル校事業	「心の教育推進モデル校」を1校指定し、児童生徒の道徳的実践力の育成に取り組む。	学齢期 青少年期	学校教育担当

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
46	2216		適応教室「やまびこ館」ICT活用事業	整備された適応教室「やまびこ館」のICTシステムの電子メールを活用し、学校で使用した授業用のプリント、学級通信等の学校からの情報等を適宜適応教室「やまびこ館」に送信し、学校と適応教室「やまびこ館」の連携を深める。	学齢期 青少年期	総合教育センター
47	2217		ことばの支援教室の運営	ことばに関する不適応を呈する子ども達の理解や対応について、専門の指導員によるトレーニング及び個別相談により改善を図る。	幼児期 学齢期 青少年期	総合教育センター
48	2219		環境体験事業	自然に触れ合う体験型環境学習を実施する学校に必要な助成を行い、活動を支援する。	学齢期	学校教育担当
49	2301	30	フィールド・スクール事業	こども文化科学館、昆虫館、博物館、美術館、柿衛文庫、郷町館などの社会教育施設を活用し、学社融合の視点に立った教育活動を行う。	幼児期 学齢期 青少年期	学校教育担当
50	2302	30	子どもサポーター派遣事業	教師志望の学生等との連携の上、学校の要望に応じ、基礎学力や学習意欲の向上、遊びや相談などサポート体制を検討する。	学齢期 青少年期	学校教育担当

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
51	2303	30	外国人児童生徒等受入事業	入国後間もない児童生徒の円滑な受け入れと、日本語理解が不十分な児童生徒に対して指導援助を行うとともに、交流活動を通して、多文化共生教育を推進する。	学齢期 青少年期	学校教育担当
52	2304	30	各教科担当者会	各小学校、中学校の各教科担当代表者が集まり、授業改善や指導法について研究し、わかる授業を推進する。学力向上のための指導法や評価について研修を深める。教職員の自主的な研修を有効に行う。	学齢期 青少年期	学校教育担当
53	2305	30	教職員のスキルアップ事業	児童生徒の確かな学力の向上をめざし、「わかる授業」を推進するための指導法を研究する。各学校において、研究発表会を実施し教職員のスキルアップを図る。	学齢期 青少年期	学校教育担当
54	2307		小学校英語教育支援事業	英語教諭の資格を有する者、またはそれに準ずる程度に英語力を有する者を指導補助員として小学校に派遣し、「総合的な学習の時間」等における英語活動の充実を図る。	学齢期	学校教育担当
55	2308		読書教育推進事業	市内の全小・中学校に司書教諭または図書館司書の資格を持つ指導補助員を配置し、学校図書館の活性化を図るとともに、児童生徒の「読む力・書く力」等、国語力の向上に資する。	学齢期 青少年期	学校教育担当

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
56	2309		「読む・書く・話す・聞く」ことば文化都市伊丹特区	文部科学省より教育課程特例校の指定を受け、小学校に「ことば科」、中学校に「グローバルコミュニケーション科」を設置する。	学齢期 青少年期	学校教育担当
57	2310		学力向上推進モデル校事業	小学校・中学校4校を「学力向上推進モデル校」として指定し、率先した取り組みを進める。	学齢期 青少年期	学校教育担当
58	2311		サタデースクール事業	家庭と連携し、休日の学習習慣の確立と学ぶ楽しさや意欲を育てることを目指して、土曜日の午前中に市内各施設で実施する。	学齢期 青少年期	学校教育担当
59	2312		進路実現ゼミナール	生徒各自の進路実現を目指した学習を支援するため、外部の適切な人材を活用して土曜日に学習の場を開設する。	青少年期	市立伊丹高校
60	2313		ステップアップサタデー	個々の生徒の進路希望にきめ細かく具体的に支援するため、土曜日に各種検定試験の合格を目指した講座を開設する。	青少年期	市立伊丹高校

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
61	2314	H19 新規	授業力向上(カリキュラム)支援センター	これからの学校は、主体的に教育内容を工夫し、特色ある学校づくりを進めることが求められている。そこで、総合教育センターの調査研究部門をより強化し、情報の整理分析と提供に努め、楽しくわかりやすい授業づくりや児童生徒理解に資することによって、各学校や個々の教師の自主的な教育活動の支援をしていく。	幼児期 学齢期	総合教育センター
62	2315		指導力向上専門研修	魅力のある「わかる授業」を展開することが、児童生徒の学力を高めることにつながる。そこで、市外から優れた実践家を招聘し「授業力向上公開講座」「伊丹っ子学習」「トワイライト研修」を実施することにより、教員の授業力の向上を図る。	学齢期 青少年期	総合教育センター
63	2316		教職員のための各種講座及び研修・研究活動	教員の指導力向上は、児童生徒の基礎学力向上に欠くことのできない教育課題である。教員のライフステージに応じた研修や専門性を高める研修を実施することにより、教員の意識改革と資質の向上を図る。	学齢期 青少年期	総合教育センター
64	2317		「伊丹市教育史学校教育編」活用	伊丹の歴史を振り返り、伊丹の歴史を振り返り、先人の足跡及びこの地の文化を知り、郷土への愛着と誇りを育むため、「伊丹市教育史学校教育編」を活用し、伊丹の歴史と伝統を活かした教育を推進する。	学齢期 青少年期	総合教育センター
65	2318		伊丹市家庭学習の手引き策定事業	伊丹市の児童生徒の学力向上のために、PTA連合会の学力向上委員会との連携のもと、家庭学習の習慣作りのためのリーフレットを作成・配布し、保護者への啓発を図る。	学齢期 青少年期	学校教育担当

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
66	2319		伊丹市立伊丹高等学校(全日制)活性化事業	「確かな学力」の向上に向けて、45分×7時間授業の実施、学校設定教科「ことば文化科」の設置、教育課程の大幅な見直しによるグローバル・コミュニケーションコースの特進化、著名な特別非常勤講師による授業の実施などをする。	青少年期	高校教育改革推進担当
67	2401	31	学校体育行事	体育行事や部活動等の体育・スポーツ活動を充実させ、個性の伸長と連帯感を育成しながら「楽しい体育」をめざし、生涯スポーツを志向する子どもを育成する。	幼児期 学齢期 青少年期	保健体育課
68	2402	31	中学校部活動推進事業	伊丹市中学校部活動推進委員会により部活動に関する諸問題を調査研究し、部活動の振興充実を図る。完全学校5日制に係る部活動の在り方を共通理解していくため、部活動推進委員会と各中学校の部活動総務係の教職員との連携を深め、よりよい活動の仕方を考えていく。	青少年期	保健体育課
69	2403	31	心肺蘇生講習会	教職員ならびに中学校3年生を対象に心肺蘇生法の実技講習を実施し、教職員の救命技術の向上を図るとともに、生徒に対しては「命」の大切さについて考える場とする。	青少年期	保健体育課
70	2505		学校教育審議会(今後の市立高校のあり方)	今後の市立高校のあり方について検討する。	青少年期	高校教育改革推進担当

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
71	3101	32	発達支援マネジメント事業	障害の程度を問わず発達に関して支援が必要な子どもに対して、総合的な相談ができるシステムを構築し、情報を一元化する。また、医療を含めた専門的な支援方針を策定し、各成長過程を通じた支援を行う。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	保育課
72	3102		特別支援ネットワーク事業	本市の特別支援教育を進めるにあたって、今後の方向性や教育支援のあり方について、関係機関が連携して協議を重ね、幼稚園から学校卒業まで、一貫して支援していく総括的システムの構築を図る。	幼児期 学齢期 青少年期	学校教育担当
73	3103		特別支援教育巡回相談員派遣事業	相談員が教育現場を訪問し、ケースの状況を把握する中で発達障害に対する指導方法、指導内容の充実を図る。	幼児期 学齢期 青少年期	総合教育センター
74	3104		特別支援教育支援員配置事業	中学校に特別支援教育支援員を配置し、学級担任を補助し、決め細やかな指導を行う。	学齢期 青少年期	学校教育担当
75	3202	32	日中一時支援	就学前の子どもと保護者が自由に集い、子育てについての情報交換や友達づくりを進める場として開催する。事業の啓発と内容を充実させる。	学齢期 青少年期	子育て支援課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
76	3203	33	障害児居宅介護事業	身体に障害のある子どもまたは知的に障害のある子どもであって、日常生活を営むのに支障がある場合、その者の家庭において行われる入浴、排せつ、食事等の介護、調理、洗濯および掃除等の家事、生活等に関する相談助言ならびに外出時における移動の介護を適切に行う。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	子育て支援課
77	3204	33	障害児デイサービス事業	障害をもつ子どもあるいは早期療育を必要とする子どもを対象に、日常生活における基本的動作の指導、集団生活への適応を支援していく。	幼児期	保育課
78	3205	33	障害児短期入所事業	介護者の疾病等の理由により、家庭において介護を受けることが一時的に困難となった、身体に障害のある子どもに障害のある子どもが、児童福祉施設に短期間入所することができる事業。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	子育て支援課
79	3206	33	就学指導委員会	心身に障害のある子どもの適正な就学(園)について、審議しその指導を行う。親のニーズの多様化および障害が重度化するなどの現状を踏まえ、一人ひとりの個性を大切にしたい就学指導の在り方を考えていく。 また各関係機関との連携を深め、適正な就学指導を行う。特殊教育から特別支援教育への移行に向けての研修を進める。	幼児期 学齢期 青少年期	学校教育担当
80	3207		伊丹特別支援学校理学療法士・作業療法士等活用事業	伊丹市立伊丹特別支援養護学校に理学療法士及び作業療法士等を配置し、自立活動等の中で、訓練及び支援を行うことにより、児童生徒の自立を促すとともに、肢体不自由特別支援学校としての専門性を高め、伊丹特別支援学校の活性化を図る。	学齢期 青少年期	学校教育担当

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
81	3301	33	児童虐待防止対策事業	児童虐待の未然防止・早期発見・早期対応を図るため、児童虐待防止市民ネットワーク会議を効率的に機能させる。また、事例検討を中心とした研究会を開催し、関係機関との連携強化を図る。さらに、市民や関係機関を対象とした講演会を開催し、児童虐待への理解と啓発に努める。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	子育て支援課
82	3302	33	家庭児童相談室における相談事業	家庭で子どもを養育していく上でのさまざまな悩み、心配事について家庭相談員が相談に応じる。相談件数の増加と共に内容も複雑・多岐にわたっているため、関係機関と連携した対応を進め、相談体制の充実を図る。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	子育て支援課
83	3303		人権週間記念作文・ポスター事業	次代を担う小・中学生を対象に、人権に関わる作文やポスター図案を募集し、その表現活動をとおして、人権尊重の重要性・必要性についての理解を深めるとともに、作文集を発行し市民啓発に資する。	学齢期 青少年期	人権教育室
84	4101	35	子育てオリエンテーション事業	出生届けの受理時に、子育て支援に関する情報提供や子育て相談・遊びのノウハウの提供などを行い、乳幼児を抱える家庭が日々の生活の中で育児に対する不安感や孤立感の軽減ができるようにする。	赤ちゃん期 幼児期	子育て支援課
85	4201	35	不妊に対する支援事業	公的機関だけでなく、医療機関とも協力しながら、不妊に関する専門相談機関や、県が実施する治療費助成事業について広く情報を提供するよう努める。	赤ちゃん期	健康福祉課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
86	4301	35	乳幼児健診事業4か月児健診	乳児期前半の健診として集団で実施。予防接種の受け方や危険防止、離乳食の開始等の保健指導・個別相談を実施する。	赤ちゃん期	健康福祉課
87	4302	35	乳幼児健診事業10か月児健診	個別に受託医療機関で実施。保健センターと医師の連絡を密にし、経過観察の必要な児に対して保健センターでフォローアップする。	赤ちゃん期	健康福祉課
88	4303	35	乳幼児健診事業1歳6か月児健診	集団で実施。 栄養のバランス・子どもの発達に合わせた調理の工夫や歯磨きの仕方等の保健指導・個別相談を実施する。	赤ちゃん期	健康福祉課
89	4304	35	乳幼児健診事業3歳児健診	集団で実施。偏食の工夫・食事のしつけや児童への歯磨き指導等の保健指導・個別相談を実施する。	幼児期	健康福祉課
90	4305	36	乳幼児発達相談事業	乳幼児期における身体面での発達に関して、小児科医等による相談・指導を行い、必要な場合は、専門機関との連携を図る。	赤ちゃん期 幼児期	健康福祉課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
91	4306	36	健診の事後指導	乳幼児健診受診後の子どもとその保護者を対象に発達や育児に関する相談・指導を行う。育児不安や虐待の疑いのある個別相談のケースの増加を踏まえ、県の健康福祉事務所やその他の関係機関との連携を図り、相談の機会を確保する。	赤ちゃん期 幼児期	健康福祉課
92	4307	36	マタニティクラス	妊婦とそのパートナーを対象にし、食生活など妊娠中の過ごし方や、おっぱい、赤ちゃんの話などの講座を実施。助産師、栄養士、歯科衛生士、保健師をスタッフとする。また、平成16年度から、年1回、土曜日に、「新米パパとママの育児セミナー」を開催する。	赤ちゃん期	健康福祉課
93	4308	36	母子健康手帳の交付	妊娠の診断を受けた妊婦が妊娠届出書を提出することにより、母子健康手帳を交付する。その際、妊娠出産育児に関する事業や情報を提供する。	赤ちゃん期	健康福祉課
94	4310	36	妊婦訪問	妊娠届出書の内容から判断し、ハイリスクの妊婦を保健師・助産師が訪問する。	赤ちゃん期	健康福祉課
95	4311	36	新生児訪問	従来は生後1か月までの新生児を対象にしていたものを、おおむね生後3か月児まで対象月齢を広げ、保護者の希望に応じて保健師・助産師が訪問を行う。	赤ちゃん期	健康福祉課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
96	4312	36	乳幼児訪問	他機関からの連絡や相談の内容により、訪問が必要と判断した乳幼児とその保護者について保健師が訪問を行う。	赤ちゃん期 幼児期	健康福祉課
97	4313	36	のびのび教室	1歳児の親子を対象に栄養・歯磨きなどの話や、親子遊び、各種相談を実施する。母子事業全体の中での1歳児対象の健康教育として実施。	赤ちゃん期	健康福祉課
98	4314	36	育児・ともに語る広場	虐待予防も含めた育児支援の観点から、育児不安や孤立している母親がグループに参加することで子育ての大変さを話して共感し、支えあう。1クール8回。	赤ちゃん期 幼児期	健康福祉課
99	4315	37	育児支援家庭訪問事業	出産後間もない時期(概ね1年程度)の養育者が育児ストレス等により子育てに対して不安や負担感を強く感じている家庭を対象として、助産師等が訪問して育児指導・相談を行う。	赤ちゃん期 幼児期	健康福祉課
100	4315	37	育児支援家庭訪問事業	出産後間もない時期(概ね1年程度)の養育者が育児ストレス等により子育てに対して不安や負担感を強く感じている家庭を対象として、助産師等が訪問して育児指導・相談を行う。	赤ちゃん期 幼児期	子育て支援課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
101	4401	37	モグモグ離乳食講座	離乳食の進め方と作り方や離乳食調理のデモンストレーションと試食・身体測定・参加者同士の交流会を実施する。	赤ちゃん期	健康福祉課
102	4402		食育推進事業	平成19年度食育推進実践計画を策定する。	学齢期	健康福祉課
103	4501	37	子育てコーディネート事業	子育て支援アドバイザーを配置し、多様な子育て支援サービス情報を総合的に把握し、発信する。インターネット等を活用したサービス利用者への情報提供および利用援助等の支援を行うことにより、利用者の利便性の向上およびサービス利用の円滑化を図る。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	子育て支援課
104	4502	37	保健センターももしも育児相談	乳幼児の成長や、育児に関する相談(電話や面接)を行う。	赤ちゃん期 幼児期	健康福祉課
105	4503	37	子育て支援センター子育て相談事業	子育て支援センターにおいて、電話や来所等で子育ての相談に応じる。他の相談機関と連携し、より適切な対応等ができるよう相談体制の充実を図る。	赤ちゃん期 幼児期	子育て支援課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
106	4504	37	子育て相談ホットライン事業	休日・夜間を含む24時間対応の子育て電話相談を伊丹乳児院に委託し実施。相談窓口を充実させることで児童虐待の防止、子育ての不安や悩みの解消を図る。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	子育て支援課
107	4506	38	保育所子育て相談事業	来所、または電話による育児相談を受ける。不審者の侵入等、安全の確保をしながら、地域の子育て支援の拠点として積極的に取り組んでいく。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	保育課
108	4507		子育て情報ぶっく・いたみすくすくマップ改訂事業	現行の「子育て情報ぶっく」を改訂し、妊娠から出産、子育てに関する情報を、質量ともに充実させてわかりやすく整理し、市民に提供する。	赤ちゃん期 幼児期	こども企画課
109	4601	38	子育て支援センター子育て支援セミナー事業	対象年齢別の子育て講座、子育てグループ相談等、各種子育て講座を開催する。参加者のニーズを把握し、内容を工夫しながら、親子が交流できるセミナーや父親参加のセミナーなどを開催していく。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	子育て支援課
110	4603	38	子どもの発達と課題に応じた親学習・子育て学習の促進(草の根家庭教育推進事業)	「4か月児健診時家庭教育支援」、「就学前家庭教育学級」、「思春期家庭教育学級」などの機会を捉えた学習の場を提供し、家庭においてその時々の子どもの発達や課題に応じたよりの確かな対応ができるよう、学んだり考えたりできる機会にしている。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	家庭教育課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
111	4604	38	だんらんホリデー	家族だんらんや親子のふれあいを通して家族の絆を深めるとともに、市民くろみで子どもの健やかな成長を図る機会とする。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	家庭教育課
112	4701	39	入院時食事療養費標準負担額助成金	平成16年10月より、入院時の食事療養費標準負担額(入院時の食事負担金)の県の助成制度が廃止されたが、乳幼児医療に関しては市単独事業としてこれを継続していくことで、子育て期間中の経済的な負担を軽減する。ただし子育て支援医療受給者のうち0歳児～6歳児義務教育就学前までの乳幼児に限る。	赤ちゃん期 幼児期	後期医療福祉課
113	4702	39	子育て支援医療費助成	0歳児～6歳児義務教育就学前までの乳幼児を対象に、保険給付における自己負担相当額を助成する。(0歳児は所得制限なし、1歳児からあり) 小学1～3年生を対象に、保険給付における自己負担相当額を助成する。(外来は一部負担金あり) 小学4～6年生を対象に、入院時の保険給付における自己負担相当額を助成する。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期	後期医療福祉課
114	4703	39	母子家庭等医療費助成	母子家庭の母とその児童、父子家庭の父とその児童並びに遺児を対象に、保険給付における自己負担相当額を助成する。(所得制限あり)児童とは、18歳に達する年度末までの者、ただし、高等学校在学中の場合は、20歳の誕生日の月末までとする。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	後期医療福祉課
115	4704	39	児童手当	支給対象 小学校終了まで(12歳到達後の最初の3月31日まで) 支給金額 月額 3歳未満 一律10,000円 3歳以上 第1子5,000円 第2子5,000円 第3子以降10,000円 児童手当法によるもので、所得制限あり。	幼児期 学齢期 青少年期	子育て支援課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
116	4705	39	児童扶養手当	母子家庭等で18歳までの児童を養育している母等に支給 全部支給 41,720円/月 一部支給 41,710円～9,850円/月までの10円単位 2人目 5,000円/月加算 3人目 3,000円/月加算 児童扶養手当法によるもので、所得制限あり。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	子育て支援課
117	4706	39	就学援助事業	経済的理由により就学困難な小中学校の児童生徒の保護者に対して学用品費等を援助して就学援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。所得制限、支給限度額等の見直しを検討する。	学齢期 青少年期	学校教育担当
118	4707	39	市立高校授業料・入学料減免事業	経済的理由により修学困難な市立高等学校の生徒の保護者に対して、授業料および入学料を免除・減免することにより修学を奨励する。平成15年度から、定時制についても授業料および入学料を徴収しているため、減免の対象としている。	青少年期	学校教育担当
119	4708	39	伊丹市奨学金貸付・入学支度金	教育の機会均等を図るため、経済的理由により修学困難な方に対して奨学金の貸し付けを行う。現在の社会情勢に応じた制度の整備と、制度を広く利用できるための広報活動をする。幅広く利用できるよう、ニーズに合った制度改正等を視野に入れて制度の整備を進める。	青少年期	学校教育担当
120	4709	39	私立幼稚園就園奨励費補助事業	私立幼稚園に在園している満3歳児および3・4・5歳児の家庭の経済的負担を軽減するため、国の補助を受け、就園奨励費補助金の交付をする。保育料の公私間の格差を是正する。補助金額の見直しについての検討を行う。	幼児期	学校教育担当

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
121	4710	40	市立幼稚園保育料・入園料の免除または減額	市立幼稚園就園につき、経済的に困難な世帯に対し、保育料および入園料の免除または減免により、保護者の経済的負担の軽減を図る。	幼児期	学校教育担当
122	4711	40	市営住宅の母子・父子等世帯優先枠の確保	空家募集に際し、母子・父子等世帯優先枠を設け、母子・父子等世帯の入居しやすい環境づくりに努める。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	住宅課
123	4712	40	市営住宅の若年世帯優先枠の確保拡大	空家募集に際し、若年世帯(35歳以下)向け優先枠を設け、若年世帯の入居しやすい環境づくりに努める。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	住宅課
124	4713	40	市民特別賃貸住宅若年世帯等家賃支援事業	若年世帯(35歳以下)及び子育て世帯(小学校終了前の児童を養育する世帯)に対して家賃支援を行うことにより若い世代の入居促進、子育て支援を行い、活力ある人口の流入、定着を図る。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	住宅課
125	4714	40	市バス子ども運賃の一部無料化	従来の市バス運賃は、乳児(1歳未満)は無料であったが、1歳から小学校就学前の子どもは、旅客1人に対して同伴1人が無料であった。平成16年11月29日から、小学校就学前の子どもについては、2人まで無料とし、子育て家庭の経済負担の軽減に努め、市バスサービスの充実を図る。	赤ちゃん期 幼児期	交通局

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
126	4715		育児ファミリーサポートセンター利用 助成事業	育児の援助を受けたい人(依頼会員)と育児を支援する人(協力会員)が、お互いに助けたり、助けられたりして、育児の相互援助を行う会員組織の支援活動。事業の啓発活動を進め、会員相互の交流が図れる事業および市民向けの公開講座を開催する。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期	子育て支援課
127	4716		妊婦健診公費助成制度	安全に出産していただくために、妊婦健診の受診を推奨するために、妊婦健診公費負担を実施する。(平成18年7月より)	赤ちゃん期	健康福祉課
128	4717		ひょうご多子世帯保育料軽減事業	兵庫県から全額補助を受け、多子世帯において第3子以降に該当する者が市立幼稚園を利用する場合の保育料を軽減することにより、子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する。	幼児期	学校教育担当
129	4717		ひょうご多子世帯保育料軽減事業	兵庫県から全額補助を受け、多子世帯において第3子以降に該当する者が公私立保育所を利用する場合の保育料を軽減することにより、子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する。	赤ちゃん期 幼児期	保育課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
130	5101	41	男女共同参画社会推進事業	男女共同参画社会の実現に向けた啓発・講座・相談・情報提供・グループ支援・交流等の諸事業を実施していく。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	男女共同参画課
131	5102		女性のチャレンジ支援推進事業	女性が安心して子どもを産み育てながら、就職、起業、地域活動などにチャレンジできるよう環境整備や仕組みづくりを進めることは、次世代育成支援観点からも重要である。県は平成18年度、官民の関係機関が効果的な事業展開を図るネットワーク「ひょうご女性チャレンジねっと」を構築し、女性の再チャレンジ支援の推進を進めている。伊丹市としても、ネットワークに参画するとともに、再チャレンジ支援のための講座、相談事業の充実を図り、支援を推進していく。いたみ女性チャレンジひろば チャレンジ相談 再チャレンジ支援セミナー	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	男女共同参画課
132	5201	42	育児ファミリーサポートセンター事業	育児の援助を受けたい人(依頼会員)と育児を支援する人(協力会員)が、お互いに助けたり、助けられたりして、育児の相互援助を行う会員組織の支援活動。事業の啓発活動を進め、会員相互の交流が図れる事業および市民向けの公開講座を開催する。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期	子育て支援課
133	5202	42	求職者就労支援セミナー	求職者を対象として、厳しい雇用環境に対応するための有効的な情報を発信し、受講者が厳しい雇用環境に適応できることを目的として、セミナーを開催する。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	商工労働課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
134	5203	42	育児休業セミナーなど周知と両立支援に関する啓発	仕事を持つ親や伊丹市内の事業者に対し、育児休業に関する周知や啓発を行う。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	商工労働課
135	5203	42	育児休業セミナーなど周知と両立支援に関する啓発	仕事を持つ親や伊丹市内の事業者に対し、育児休業に関する周知や啓発を行う。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	男女共同参画課
136	5301	42	児童くらぶ事業	市内の小学校等に在学する1年生～3年生までのすべての児童、および4年生～6年生までの障害のある児童を対象に就労、疾病等の理由により放課後、家庭において「保育に欠ける」児童の健全育成を図ることを目的に実施する。また、入所児童の多いくらぶについては、1.5室～2室を活用し、量的・質的にも充実を図る。	学齢期	家庭教育課
137	5301	42	児童くらぶ室整備工事	市内の小学校等に在学する1年生～3年生までのすべての児童、および4年生～6年生までの障害のある児童を対象に就労、疾病等の理由により放課後、家庭において「保育に欠ける」児童の健全育成を図ることを目的に実施する。また、入所児童の多いくらぶについては、1.5室～2室を活用し、量的・質的にも充実を図る。	学齢期	家庭教育課
138	5302	42	通常保育	就労、疾病等の理由により、「保育に欠ける」子どもの保育を実施する。また現在、国において検討されている総合施設への取り組みや保育所の民間移管について、調査研究を行っていく。	赤ちゃん期 幼児期	保育課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
139	5303	42	一時保育	育児ノイローゼの解消や疾病などの緊急時に対応するため、市内の保育所において保育所入所児童以外の就学前児童を一時保育することにより育児支援を行う。	赤ちゃん期 幼児期	保育課
140	5304	42	延長保育	保育所に入所している児童で、延長保育を必要とする児童に対して保育を行う。	赤ちゃん期 幼児期	保育課
141	5305	43	休日保育	保育所に入所している児童で、休日に保育に欠ける児童に対して保育を行う。	赤ちゃん期 幼児期	保育課
142	5306	43	病後児保育	子育てと就労の両立支援の一環として、病気やけがの回復期にあたり、家庭や集団での保育が困難な乳幼児を一時的に預かる事業として実施する。	赤ちゃん期 幼児期	保育課
143	5307	43	子育て家庭ショートステイ事業	保護者が疾病などの社会的な理由で一時的に家庭での養育が困難となった場合に、児童や保護者を児童福祉施設で預かる。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	子育て支援課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書 P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
144	5401	43	母子・父子等のひとり親家庭相談事業	母子自立支援員が、母子・父子等のひとり親家庭を対象に生活一般、生活援護相談に応じる。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	子育て支援課
145	5402	43	単親家事介助派遣事業	ひとり親家庭の生活の安定および福祉の向上を図るため、家事介助員を派遣し、家事などの日常生活の世話をを行う。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	子育て支援課
146	5403	43	助産施設入所事業	入院助産を受ける必要があるにもかかわらず、経済的な理由で受けられない妊婦に対して、市立伊丹病院と連携して分娩費用を軽減する。	赤ちゃん期	子育て支援課
147	5404	43	母子生活支援施設入所事業	母子家庭で、住居、生活などに困っている親子が入所し、自立ができるよう支援する。母子ホームと連携しながら進める。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	子育て支援課
148	5405		母子家庭自立支援給付事業	母子家庭に対する就労支援	赤ちゃん期 幼児期	子育て支援課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
149	6101	45	地域ぐるみの子育て支援事業	「ひろば」事業の充実 ・子育て支援センター・共同利用施設・幼稚園・保育所など、地域の拠点施設で、在宅子育て家庭の乳幼児とその保護者を対象に、遊びの紹介や親子あそび、子育て相談などを内容とする事業を展開し、そこに集う子どもや親同士ができるだけ自然な形で出会い、ふれあう機会となる場づくりをめざす。ベビーカーを押して行ける範囲に1ヶ所の実現をめざす。・「ひろば」事業に子育て・子育て中の親子以外の参加者を募る。子育て世代と子育て応援世代の交流会を実施し、同じ場所で同じ体験をすることなどを通して互いの理解を深めていく。「生活の知恵」など文化の継承の機会ともする。子育て支援者の育成 子育て応援世代や中高生などが、講習会に参加したり実際に子育て中の親子に接したりする中で、子育て支援に必要なスキルを身につけて地域の子育て支援者として活動できるようにしていく。多世代交流の推進 赤ちゃん期、幼児期、学齢期、青少年期、成人期、老年期のライフサイクルを念頭に置いた相互の助け合いを子育て支援という視点から見つめ直し、多様な世代交流が、地域の中に定着するよう支援していく。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	子育て支援課
150	6102	45	家庭・子ども支援ネットワーク事業(すこやかネット事業)	学校・家庭・地域が行動連携した「ご近所一声運動」や各種連携事業を中心に「家庭・子ども支援」の地域ネットワークを作る。複数の幼稚園、小学校に中学校が参加した校区を単位に3年間で全市域に広げていく。	幼児期 学齢期 青少年期	家庭教育課
151	6104		こんにちは赤ちゃん事業(生後4ヶ月までの全戸訪問)	生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問。子育て支援に関する情報提供や子育てに関する相談を受け、これから子育てに励まれる保護者をホッとさせられるような子育て支援事業とするものである。	赤ちゃん期 幼児期	子育て支援課
152	6105		地域子育てバックアップ事業	地域における創意工夫ある子育て支援の取り組みを促進するため、地域と一体となって自主的に子育て支援活動に取り組む団体の提案により、当該活動にかかる経費の一部を補助する(提案公募型)。また、併せて、当該活動が効果的かつ円滑に実施できるよう、市は、補助対象団体に対し、アドバイザーの派遣、関係行政機関等との調整、活動内容の広報への掲載等の支援を行う。	赤ちゃん期 幼児期	子育て支援課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
153	6202	46	夏季ボランティア体験学習(明日に架ける橋)	児童生徒が夏休み期間中に地域において実施しているさまざまな地域福祉活動に、地域の一員として参加することにより地域ボランティアを経験する機会として実施する。	学齢期 青少年期	社会福祉協議会
154	6203	46	ハンディキャップスポーツフェスタ	ボランティア活動の実践の場として、また障害者スポーツを通して障害者への理解を深め、今後の継続したボランティア活動に発展されることを目的に、ハンディキャップスポーツフェスタ実行委員会を組織して実施する。	学齢期 青少年期	社会福祉協議会
155	6301	46	子育て支援センター子育てサークルの活動支援	子育てサークルマップの作成とサークルへの講師派遣や講師謝礼の一部を助成し、地域の子育てサークル活動を支援する。サークル活動の充実と活動場所の確保、子育てサークルの企画・運営による講習会等を開催する。	赤ちゃん期 幼児期	子育て支援課
156	6302	46	子育てサークルネットワーク化の推進	市内の子育てサークルの代表者が集い、各サークルの情報交換をしたり、自らの力でイベントなどを開催する事などを通して、サークル間の連携を図ったり、サークル活動への参加意欲と自信を深めていけるようにする。支援センターが核となり、サークルの主体性を育みつつサークル間の連携ができるようにしていく。	赤ちゃん期 幼児期	子育て支援課
157	6303		子育てサークル助成金	地域で孤立する就学前児童を育てる保護者の子育てを支援する仕組みとして、地域で活動する子育てサークルに対して、育成・支援するための補助金を交付し、その活性化を図る。 1団体:2万円助成(3年限度)3ヵ年事業	赤ちゃん期 幼児期	子育て支援課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
158	6401	46	スポーツクラブ21	小学校区単位で、地域の人々が一緒になって活動し、スポーツを通して子どもたちの健やかな成長をめざすとともに、市民の健康増進を図っていく会費制の地域スポーツクラブ。17小学校区全てで実施していく。	幼児期 学齢期 青少年期	スポーツ振興課
159	7101	47	小児救急医療体制の充実	初期小児救急医療に特化した時間外診療機能を備え、住民の安心できる子育ての拠点となる。トリアージ基準を明確にし、後送病院とのネットワーク下で、役割分担する。地域子育て支援グループと連携し、適正受診の指導を行う。小児プライマリーケアの医師・看護師の研修施設としての機能を備える。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	健康生活室
160	7102	47	伊丹市民病院小児科における育児支援サービス事業	外来・入院患者を対象に健康教育、虐待防止、薬の上手な飲ませ方、子育て初心者の子育て相談などを外来スペースに設置した相談コーナーで行い、子どもが病気の時などの育児不安の解消をめざす。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	伊丹病院
161	7103	48	保育所の看護師の設置	外来・入院患者を対象に健康教育、虐待防止、薬の上手な飲ませ方、子育て初心者の子育て相談などを外来スペースに設置した相談コーナーで行い、子どもが病気の時などの育児不安の解消をめざす。	赤ちゃん期 幼児期	保育課
162	7104		いたみ子育て家庭応援事業	子育て家庭に対して優待サービスや施設面での配慮のある企業・店舗を「いたみ子育て応援店」として認定し、シンボルマーク「すくすくちゃん」を店頭等に掲示してもらうことにより、子育て家庭が利用しやすい環境を作る。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期	こども企画課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
163	7201	48	幼児交通安全クラブ	幼稚園児およびその保護者が基本的な交通安全に関する習慣づけやルールを学べるよう、警察をはじめとする関係機関と連携し、公・私立幼稚園における交通安全指導を行っていく。	幼児期	生活安全課
164	7301	48	補導活動事業	地域に密着した街頭補導と「愛の一声運動」を推進していく。あわせて、関係機関・団体と連携したキャンペーン等による広報啓発活動を実施していく。	幼児期 学齢期 青少年期	社会教育課 (愛護センター)
165	7302	48	地域防犯活動への支援	地域住民が自主的に行うパトロールや啓発活動への支援や、それに必要な人材育成のための研修や講座等を実施する。	幼児期 学齢期 青少年期	生活安全課
166	7303	48	市民への犯罪情報や地域安全情報の提供	身近な地域を単位として自主防犯活動を促進できるよう、市民への犯罪情報や地域安全情報の提供を行う。あわせて、効果的な情報提供のあり方を検討する。 また教育委員会では、不審者情報等の「子どもの安全に関する情報」を随時ホームページに掲載し、希望者にはメールで配信している。	幼児期 学齢期 青少年期	生活安全課
167	7304	48	安全・安心な学校園づくり	学年ごとの下校時刻に関する「メール配信事業」や「伊丹市メールマガジンシステム」、「ひょうご防犯ネット」を行工に活用するなど、児童生徒の安全確保に努める。	幼児期 学齢期 青少年期	学校教育担当

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
168	7305		親と子で防災チャレンジ	小学2～3年生とその保護者を対象として、夏休み期間中に親子で気軽に楽しみながら防災知識を学ぶことにより、「防災」を身近に感じてもらい、防災意識の向上につなげる。	学齢期	危機管理室
169	7401	62	相談活動事業	学校および関係機関と連携し少年問題の相談に応じる。学校、PTA、児童生徒、市民への広報啓発活動を進める。センター通信やチラシ等で相談活動の周知を図る。	学齢期 青少年期	社会教育課 (愛護センター)
170	7501	49	道路安全対策事業	生活基盤である道路の安全対策事業として、ベビーカーの使用者や子どもたちが安全かつ安心して通行できる道路の整備を計画的に進めるとともに、道路を良好な状態に保つよう維持管理に努める。道路内での歩行者等の交通安全の確保と、バリアフリー化を推進する。 身近に利用される道路を中心に、側溝の蓋掛等により有効幅員を広げ、安全に使用できる歩行空間や、交通安全施設の整備を図るとともに、ポケットパーク等、地域住民(親子・妊婦等)が憩える場を創出する。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	道路建設課
171	7501	49	道路安全対策事業	生活基盤である道路の安全対策事業として、ベビーカーの使用者や子どもたちが安全かつ安心して通行できる道路の整備を計画的に進めるとともに、道路を良好な状態に保つよう維持管理に努める。道路内での歩行者等の交通安全の確保と、バリアフリー化を推進する。 身近に利用される道路を中心に、側溝の蓋掛等により有効幅員を広げ、安全に使用できる歩行空間や、交通安全施設の整備を図るとともに、ポケットパーク等、地域住民(親子・妊婦等)が憩える場を創出する。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	道路保全課
172	7601	49	都市公園整備事業	「みどりの基本計画」に基づき、市民の参画と協働のもと、都市の基幹的な施設である公園・緑地を整備している。公園の設計については、特にバリアフリー化や犯罪等の防止等に配慮する。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	みどり課

平成20年度伊丹市次世代育成支援行動計画実施状況

- ・「事業NO」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲げる基本目標の分類ごとに区分して付しています。
  - ・伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)の策定以後に開始した事業につきましては、開始年度を記載しています。
- ・「計画書P」は、伊丹市次世代育成支援計画(愛あいプラン)に掲載しているページを記載しています。基本目標の分類ごとに区分して付しています。
- ・「成長過程」は、事業の対象となるライフステージを記載しています。
  - ・赤ちゃん期(胎内～1歳頃)
  - ・幼児期(2歳～5歳頃)
  - ・学齢期(6歳～12歳頃)
  - ・青少年期(13歳～18歳頃)

No.	事業	計画書P	事業名	事業概要	成長過程	所属名
173	7601	49	都市公園整備事業	・多くの住民が愛着を持つ、魅力のある公園を整備するため、公園計画段階から住民の参画と協働によるまちづくりを進めていく。 ・住民の参画と協働による公園の管理・樹木等の育成を進めていく。 ・防犯面について、公園内に死角を生み出さないような施設計画をしたり、支障樹木等の管理を徹底していく。 ・公園に関心を持つ地域の住民が増えるような活動を育成、支援していく。 ・近隣公園以上の大型公園では、子育て期の親たちが公園に出かけたいようになるように、多目的トイレの設置およびバリアフリー化など施設面の充実を図る。	赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期	みどり課